

活動報告（10月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 地域振興課・生産振興課

表題：高機能バイオ炭散布後のタマネギ苗の初期生育調査を実施

日時：令和7年10月20日（月）

場所：静岡県浜松市中央区



【 タマネギ苗の初期生育調査を実施する様子 】

今年度、「みどりの事業活動を支える体制整備」の交付金を活用した試験が県下で実施されています。西部農林事務所管内では、JAとぴあ浜松のエシャレット、タマネギ各5軒の生産者ほ場で、高機能バイオ炭処理試験を行っています。高機能バイオ炭とは、もみ殻炭に微生物菌群を付着させた資材で、微生物のすみかとなる「バルク」（主原料：もみ殻炭）とともに処理することで、土づくりの短縮効果を狙った資材です。

10月20日（月）、多散布区・少散布区・慣行区で育苗した株の初期生育を調査しました。資材メーカー、JAとぴあ浜松、当所が参加し、定植10日後の根の長さ、新葉長、葉長、葉数を計測しました。

今後、本圃でも生育調査を実施し、バイオ炭の効果検証を行っていきます。